

宮城県理学療法士会
若手理学療法士活躍推進委員会

—第1弾 Web アンケート結果—

===基本情報===

- 回答者の経験年数（回答数：121名）

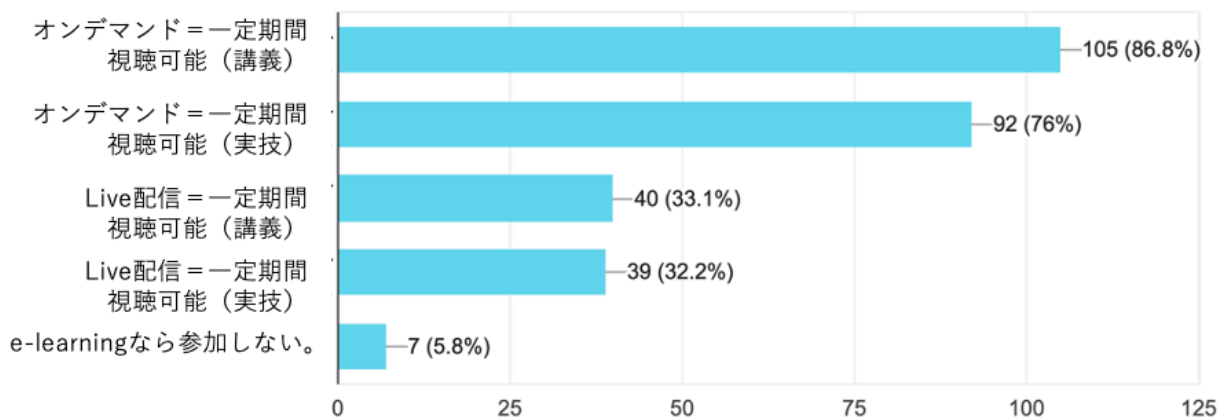
経験年数	回答数	経験年数	回答数	経験年数	回答数	経験年数	回答数
1	7	6	1	11	6	16	4
2	6	7	5	12	6	17	5
3	6	8	4	13	6	18	3
4	5	9	16	14	6	19	4
5	3	10	8	15	4	20>	19

<コメント>

- 幅広い世代から回答を得ることができました。
- ご協力いただきありがとうございました。

===研修会について===

- e-learning スタイルの研修会に関する回答（回答数：121名）



<コメント>

- オンデマンドを望む傾向、e-learning についてはネガティブでない傾向が見られました。
- その一方で、Web アンケートという特性上、そのようなことに抵抗感がないう方が回答されていた可能性もありました。

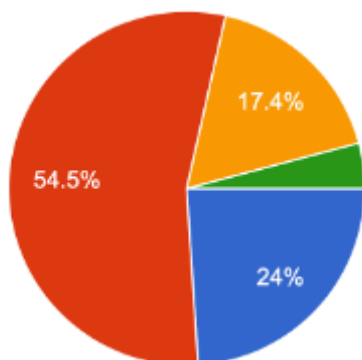
- 研修会内容に関する希望（回答数：49名）

<コメント>

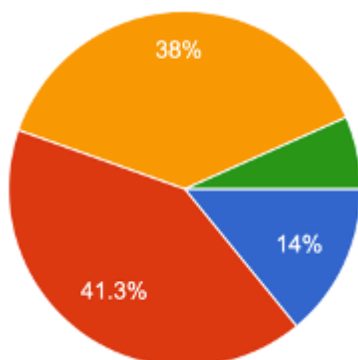
- 今後の研修会内容の検討資料とさせていただきます。

===学術大会について===

- WEB学会の形式になった場合の参加意向（回答数：121名）
青：参加したい 赤：どちらかと言えば参加したい
黄：どちらかと言えば参加したくない 緑：参加したくない



- WEB学会の形式希望（回答数：121名）
青：リアルタイム 赤：オンデマンド
黄：どちらでも 緑：参加したくない



<コメント>

- web学会について、ネガティブでない傾向が見られました。
 - その一方で、Webアンケートという特性上、そのようなことに抵抗感がない方が回答されていた可能性もありました
-
- 教育講演の希望（回答：43名）
 - 今後の学術大会の講演内容の検討資料とさせていただきます。

- 宮城県理学療法学会大会に臨むこと（回答：28名）

意見1) 学会現場とオンラインでの参加ができるようにして欲しい。

（今後、産休や育休の会員、家庭の事情で参加出来ない会員のため）
webでも中止せずやるべき。

回答1) 今年度の学会大会は試験的にWebでの開催を行う予定でおります。
ぜひご参加ください！

意見2) 質疑応答の雰囲気について、批判などの吊し上げではなく、議論やアドバイスを飛び交う雰囲気作りをして欲しい。

回答2) 学会大会では、クリティカル・シンキング（critical thinking: 批判的思考）から建設的な議論を行います。しかし、そのような習慣がないと「相手から非難された」と感じてしまう場合もあるかと思えます。特に、若い方であればあるほど、なおそのように感じ、学会大会にネガティブな印象をもってしてしまうと思えます。

そこで、第23回大会（2019年度）より、フレッシュマンセッションを導入しました。これは新人理学療法士が発表を行う時間であり、司会者を中心としたアドバイス・今後の展望について議論がなされました。発表者の皆さんも、今後の自信に繋がったと感じたそうです。そのため、この取り組みを継続することで、一般演題においても建設的な質疑応答の雰囲気が構築されていくことを期待しております。

意見3) 小規模グループでのディスカッションなど、対面学会では逆に難しい形式を考えてみては？ WEBだからこそ「学会」のステレオタイプを脱却しやすいかと。

回答3) 貴重なご意見と感じます。Web開催のメリットを生かしながら、新しい視点を取り入れてよりより大会運営を目指します。そのためには、異なる着想が欠かせません。ぜひ県士会活動にご協力いただければと思います。

意見4) 会場がいつも文化学園大学なので、異なる会場（仙台駅周辺）でも。

回答4) ご意見ありがとうございます。今後検討いたします。その一方で、会場費を抑えることで参加費を抑えられている面もありますので、慎重に検討して参りたいと思います。

意見 5) 参加費を安価に。質は落とさずに。

もっと様々な講師を呼んでほしい。

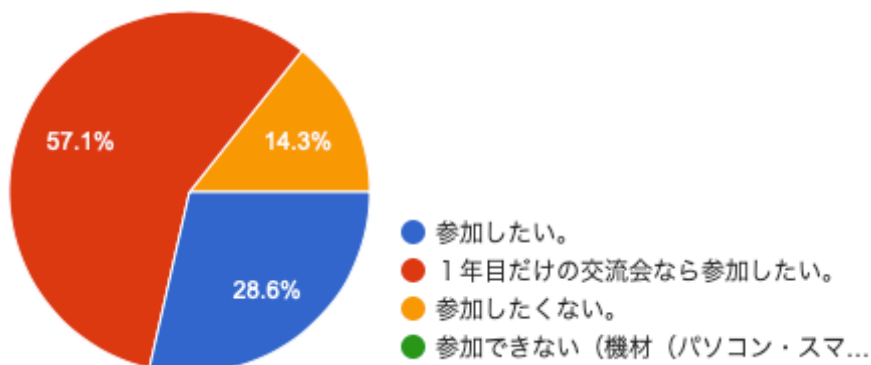
回答 5) 参加費ですが、実は県士会員への学術の機会を提供することを目的にかなり抑えた金額となっております (会員 : 1,500 円)。収支を合わせることを考えるとさらに高く金額を設定しなければならないのが実際です。まずはこの点をご理解いただければ幸いです。

そのような中で、よりよい学術大会運営ができるよう、工夫しながら進めていきたいと思っております。ぜひ、ご参加ください！

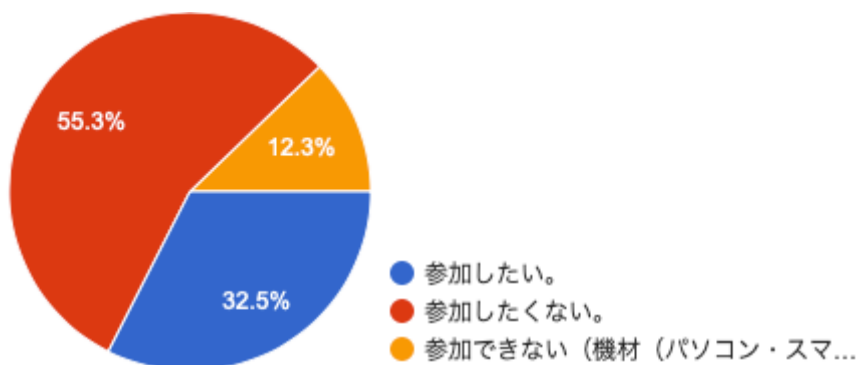
- その他、貴重なご意見ありがとうございました。今後の大会運営の参考とさせていただきます。

===リモート交流会について===

- リモート交流会への参加意向：1年目（回答：7名）



- リモート交流会への参加意向：1年目以外（回答：114名）



<コメント>

- 交流会に関する個人の見解は世代を問わず、一定の割合であった。
- その一方で、理学療法士が力を合わせて活動していくことが、我々の立場を守る、発展させるために必要不可欠である。
- コロナ禍ではあるが、オンライなどのツールを活用して県士会員の交流を盛んにしていきたいと考える。

====その他のご意見====

- 宮城県理学療法士会に望むこと（回答：31名）

意見1) 年代のセラピストが集う場・交流の場を提供して欲しい。

回答1) 年に1度の交流会を理学療法の日イベントに合わせて毎年行っており、セラピストの交流の場を設けてきましたが、今後は現状に加え、若手活躍推進委員会を中心とし、若手セラピスト同士が集う交流の場も提供しようと活動しております。2020年度、第1回目の若手セラピスト同士の交流会をリモート形式で開催し、活気ある若手セラピストが交流を深めておりました。今後も継続していく所存です。

意見2) 「理学療法のあゆみ」の資料を無料にてPDFダウンロード（パスワード設定）できることを望みます。

回答2) すでにJ-STAGEからダウンロードできるようになっております。ぜひご利用ください (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/mpta/-char/ja/>)。

意見3) 士会に関する頻回な情報発信・若手理学療法士の活動を発信して欲しい。

回答3) これまではホームページを更新することで士会の情報を発信して参りましたが、この度のアンケートにて、情報発信の量と方法に多くのご意見をいただきました。そこで、現在はLINEを用い、ホームページの更新情報をはじめ、会長のコラム・研修会開催情報・交流会の案内など様々な情報を発信する活動を開始しました。今後も継続し、若手の活動についても随時配信していく所存です。

意見4) ホームページのリニューアルを求める声。

回答4) 多くのご意見がございました。現在HP検討ワーキンググループを若手活躍推進委員会内に立ち上げ、令和三年度の完成を目標に動き始めております。

意見5) アンケートや意見収集、新しい取り組みをさらに行って欲しいです。

回答5) 視点を変えて複数実施する予定であります。また、ただアンケートを実施するだけでなく、このように可能な範囲で回答させていただきたいと思います。引き続き、回答へのご協力をお願いいたします。

意見6) 理学療法士の質向上のためになることをどんどんやっていただきたい。基本がいかにか大切に伝えてほしい。ネット上や、エビデンスの乏しい情報に踊らされている者が多過ぎる。

回答6) 今後も様々な講習会・事業を実施して参ります(2019年度会員人数当たりの理学療法講習会開催(定員数)全国一位)。またにエビデンスに基づいた情報発信に努めて参ります。また、エビデンス構築に向けた研究活動・症例報告へのご協力もお願いいたします。

意見7) 既存の形式に縛られない発想を期待します!

回答7) 新しい発想を取り入れながら活動して参ります。その一方で、ただ「新しいだけ」では本質を伴わない場合もありますので、「理学療法の未来」を加味しながら検討して参ります。

意見8) 会費について。

回答8) 日本理学療法士協会のホームページにもあります通り、日本理学療法士協会は、我が国唯一の理学療法士だけで構成される団体であり、全国47都道府県にある都道府県理学療法士会と協力して、理学療法士が「社会で安心して活躍するための様々な事業」を行っています。そのため、お支払いいただいている会費の全てが研修会・講習会費となるわけではなく、理学療法士が安心して社会で活動できる環境を整えるためにも使用されている点をご理解いただければ幸いです。その他のサービスもありますので、日本理学療法士協会のHPをご確認下さい(<http://www.japanpt.or.jp/about/join/regularmember/>)。

意見 9) 一部の人が活動している印象がある。

回答 9) ぜひ県士会活動にご協力ください。多くの皆様の力が必要です。ご協力いただける方は、希望の活動など記載の上、総務部メールアドレス宛 (mpta.soumu@gmail.com) に連絡をいただければ担当部署より返信をさせていただきます。

意見 10) “県内で行っている研修会や地区規模での集まり、理学療法士としての活動・社会貢献報告などの情報を多くの方へ共有して欲しいです。その新しい情報の中でさらに自分自身で興味のある分野に参加しやすい環境（地域からの参加ではオンライン含め）やコミュニティ内で切磋琢磨できることを望みます。

回答 10) 県士会 HP や地区ごとのネットワークにて配信しておりますが、十分に共有できていない現状があります。更なる情報発信をできるような環境を整えて参ります。

- その他、貴重なご意見ありがとうございました。今後の県士会活動の参考とさせていただきます。